

飯山駅二次交通インフォメーション強化事業

北信地方事務所 地域政策課・商工観光課

1 現 状

北陸新幹線飯山駅の開業に併せ、飯山駅発着の民間・市町村営バスが拡充され、タクシー、レンタカーなども整備されてきたが、情報提供が路線別であり、また、公共交通以外の情報が掲載されておらず、必ずしも来訪者にとって分かり易いものとなっていない。

2 目 的

来訪者を対象として、観光地別にリアルタイムに情報を提供するとともに公共交通以外の移動手段も情報提供し、来訪者の利便性向上を図る。

3 事業内容及び経費 (13, 284千円)

- (1) 信越9市町村広域観光連携会議が飯山駅観光交流センター内に交通案内デジタルサイネージ(モニター4台分)を設置する経費に対して、その一部を補助する。(山岳高原観光地づくり補助金)

$$26,568 \text{ 千円} \times 1/2 = 13,284 \text{ 千円}$$

[情報内容]

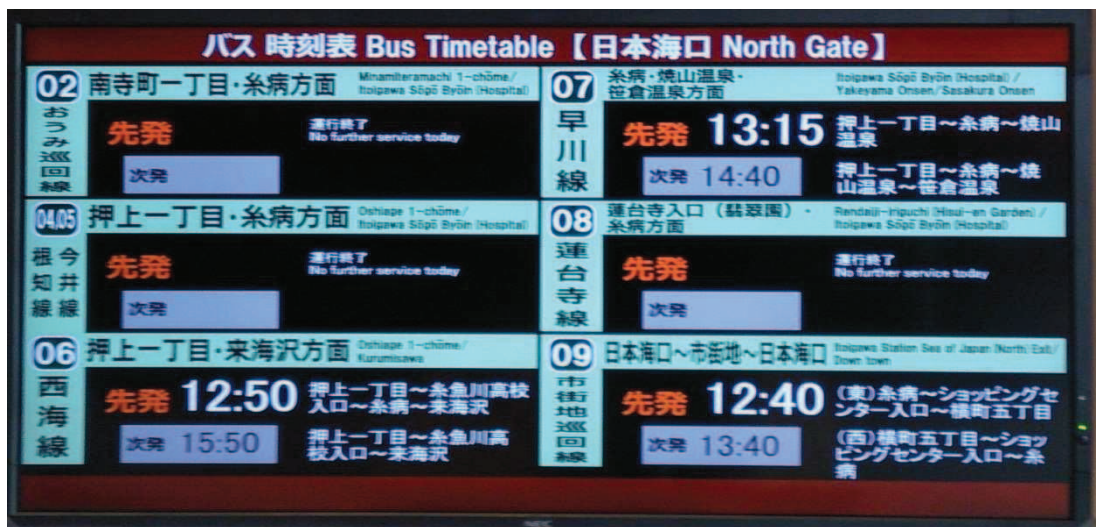
- ・バス発着時刻(観光地別で出発時刻が過ぎたら次のバスを表示する時刻連動型)
- ・主要観光地までのタクシー料金
- ・レンタカー営業案内(料金等)
- ・周遊型旅行商品(おさんぽバス等)

- (2) 上記(1)の情報内容をホームページに掲載する。

4 効 果

二次交通を利用しやすくし、来訪者の利便性を向上させ、ひいては新幹線等での来訪者を増加させることにより、観光振興を図る。

[参考] 北陸新幹線糸魚川駅交通案内デジタルサイネージ



多言語通訳クラウドサービス整備事業

北信地方事務所 商工観光課

1 現 状

インバウンドにより外国人観光客が急増する中で、管内観光地では、観光案内に加え、トラブル等緊急時に外国人とコミュニケーションがとれない事態が生じている。

また、外国人が廃旅館・ホテル等を取得して貸し出すケースや飲食店を運営するケース等も増えている中で、行政機関などに外国語が堪能な職員が配置されていないため、必要な指導が行き届かない状況となっている。

2 目 的

先駆的に通訳システム導入に要する費用の一部を支援することにより、外国人受入れ環境を整備する。

3 事業内容及び経費 (627千円)

- (1) 信越9市町村広域観光連携会議が、携帯情報端末を用いた外国語と日本語との通訳サービス導入に係る経費に対して、その一部を補助する。(山岳高原観光地づくり補助金)

初期費用 : 246千円 × 1/2 = 123千円

- (2) 北信地方事務所と北信保健福祉事務所に携帯情報端末を2台導入する。

ランニング費用 : 21千円 × 2台 × 12ヶ月 = 504千円

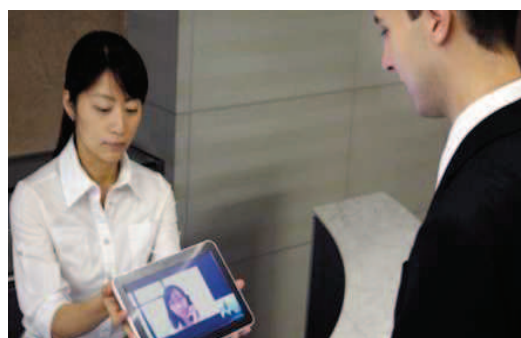
NEC法人向け通訳クラウドサービスシステム利用料

項 目	内 容	金 額	備 考
初期費用	マニュアル作成費、専用電話回線工事費、オペレータ研修費用	246千円	補助
ランニング費用 (月額料金)	通訳クラウドサービス (英語・中国語・韓国語に対応)	350千円	導入者負担
全日9:00から 20:00まで 対応時間60分/日	システム利用料	43千円	
	端末貸出(40台)	432千円	
	合計(月額利用料)	825千円 (1台当たり21千円)	

4 効 果

インバウンドにより増加する外国人を確実に取り込み、世界水準の観光地づくりを目指す。

[イメージ図]



信越自然郷「食」の魅力発信事業

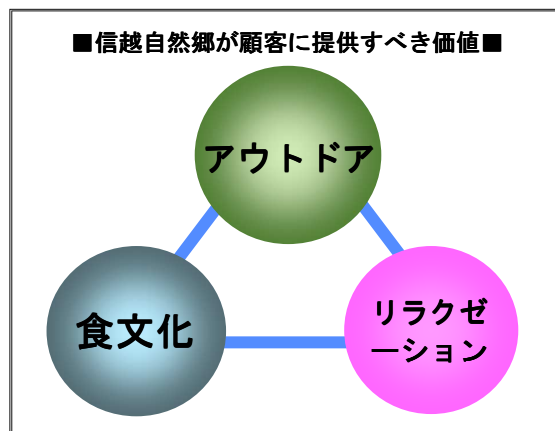
北信地方事務所 農政課・商工観光課
北信農業改良普及センター

1 現 状

信越自然郷の基本構想において、恵み豊かな大地や特徴的な四季に育まれた、日本の里山を代表する伝統的な食文化の魅力を、訪れる顧客に提供していくこととしているが、地域として共通した食文化の提供が広く行き渡っていないという現状がある。

2 目 的

「おいしい信州ふード（風土）」のうち、北信地域の特産品を信越自然郷の「食」として位置付け、旅館や飲食店と連携して、その魅力を情報発信する。



3 事業内容及び経費（800千円）

- (1) 消費者の心に届く信越自然郷の「食」を地域ぐるみで提案 120千円
消費者の視点から北信地域の「おいしい信州ふード（風土）」を信越自然郷の「食」として位置づけるために、生産者と旅館や飲食店等を交えて地消地産を推進する検討・提案会を開催し、単においしいだけでなく、地域文化と関連付けた「食」を提供する。
- (2) 信越自然郷の「食」の商品化提案会等の開催 680千円
信越自然郷の「食」を活用した産品活用セミナーや加工品開発、PR活動等を実施する。特に、地域文化や健康づくり等と融合した物語的な事業を展開する。

4 効 果

信越9市町村の「食」に対する関係者の意識が統一し、戦略的な地域振興施策に寄与するとともに、地域での消費拡大及び産地供給体制の確立、加えて農業振興の推進や地域雇用の拡大に資する。

【ぶどう類】

種なしで皮が気にならない
北信地域を代表する農作物
長期出荷が可能で観光と
結びつきやすい産品



【きのこ類】

豪雪地帯の農家を出稼ぎから解放し、家族の「絆」の象徴した農作物
近年、機能性等にも注目が集まっている。



【伝統野菜】

“坂井芋”や
“ぼたんこしょう”など北信地域の伝統的な野菜

【笹すし】

信越地域の食文化の象徴的な郷土食

